

令和6年第4回（8月）瀬戸内市議会定例会

行政報告

本日は、令和6年第4回（8月）瀬戸内市議会定例会を招集しましたところ、ご多用の中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

8月8日16時43分頃に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。この地震により、気象庁は「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催し、南海トラフ地震の想定震源域では、地震発生から1週間程度は、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっているとして、19時15分に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表しました。

これを受け、本市においては、直ちに災害対策本部班長会議を開催し、気象庁、国、県からの情報を収集するとともに、大規模地震が発生した場合の対応等について協議を行いました。また、市民に対しても、防災アプリや屋外スピーカー、戸別受信装置、ホームページ等で避難経路の確認や家具の固定、備蓄品の確認等、地震や津波への備えの再確認をしていただくよう呼びかけました。

8月15日17時に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）に伴う政府

としての特別な注意の呼びかけは終了しましたが、大規模地震発生の可能性がなくなったわけではありません。市では、今後も地震の発生に注意しながら通常の生活を送っていただくよう、啓発を行っていきます。また、備蓄品の確保をはじめ、通信手段や防災の拠点となる庁舎等の施設整備に努めていきます。

それでは、主な取組についてご報告させていただきます。

○ 牛窓支所の停電について

7月29日深夜、牛窓支所の電気設備の損傷により発生した停電の影響により、翌30日には牛窓支所、教育委員会、牛窓図書館、市立美術館及び牛窓町公民館を終日閉鎖・閉館としました。また、教育関係のネットワークが利用できなくなる等の事象が発生し、多くの市民、関係者の皆さまにご迷惑、ご不便をおかけしたことをお詫び申し上げます。

改めて今回の停電の検証を行い、他の公共施設においても停電時に早急な復旧ができるよう、電気設備の点検を行います。

○ 時間外での外線電話対応について

現在、西棟を含む市役所本庁舎各課室への業務時間外の外線電話は、一部のダイヤルイン回線を除き、夜間は宿直者、閉庁日の日中は日直者が対応しています。

この度、業務時間外及び宿日直業務時における職員の負担軽減を目的に、今年10月から業務時間外の電話応対に自動音声ガイダンスを導入します。

自動音声ガイダンス導入後は、お急ぎの場合の職員による対応への操作方法等を自動音声でご案内することになるため、今後、広報紙や市ホームページ等で市民の皆さまに周知を図ることとしています。

○ 総合防災訓練について

11月17日に長船中学校を会場として、水害を想定した総合防災訓練を実施します。今年も主に地域住民主体の避難所運営を目的とした訓練を予定しています。

大規模災害においては、行政も被災し、限られた職員で避難所の対応をしなければならないことが想定されます。また、長期間に及ぶ避難所生活においては、ごみ処理やトイレの確保等衛生的な生活環境の維持や、感染症対策等の健康への配慮、施設内の防犯体制の構築等、日常生活とは異なる様々な対応が必要となります。これらの課題に対応し、安心して共同生活を送るためには、地域住民が主体となった避難所運営が必要です。

今回の訓練は、国府小学校区の地域の方が主体となり、市、岡山県災害派遣福祉チーム、市社会福祉協議会等の関係団体と連携し、避難者の受付、段ボールベッドの設置や食料・物資の運搬等の避難所運営訓練を行うこととしており、これらの訓練を通して、災害に強い地域づくりを進めます。

○ 国際交流員の就任について

8月5日、本市において3人目となる国際交流員に、フランス出身のヒポリット・レアさんが就任しました。

ヒポリットさんは、2017年から1年間日本の大学に留学した際に、日本語を学ぶ傍らフランス語講師としてフランス文化を広める活動をされ、フランスへ帰国後は、国際的な現代アートエージェンシーでアートジャーナリストとして活躍したほか、2023年からは日本のアート全般の普及とプロモーションを担当し、プロジェクト管理や様々なイベントの企画を担当する等、日本とフランスの国際交流に携わる活動の経験が豊富な方です。

ヒポリットさんに、本市の各種の国際交流事業のほか、広報活動事業、外国人に対する情報提供事業に関わっていただくことで、当市へのインバウンドの促進と、国際交流の推進を図っていきます。

○ 瀬戸内市誕生20周年記念式典について

瀬戸内市は、今年11月1日に市制施行20周年を迎えます。これを記念し、備前長船刀剣博物館において、テーマ展「日本刀の聖地・長船復興の祖 今泉俊光」を開催する等の事業を行っています。

記念式典は、11月2日に開催を予定しており、瀬戸内市功勞表彰・善行表彰の表彰式、記念講演等を計画しています。

市民の郷土愛と一体感の醸成を図りながら、未来に向けて更なる発展を目指していきます。

○ 小規模保育事業所の設置認可について

市では、子育て世帯の転入増加により、年々保育ニーズが高まり、必ずしも希望する施設に入園できない待機者が7月末現在で53人となっており、特に0歳から2歳児が多い状況となっています。このため、民間こども園の誘致等施設整備を進めてきているところです。

このような中、岡山市で小規模保育事業所を複数運営している事業者から、邑久地区で小規模保育事業を実施したいとの申出がありました。

市としましては、民間こども園の誘致と並行して、当該事業者の小規模保育事業所設置を認可する手順をとることとし、関連する予算を今議会に計上しています。

○ 熱中症について

今年は、7月の梅雨明けから猛烈な暑さが続き、各地で観測史上最高気温を記録する等、連日のように熱中症警戒アラートが発表されています。暦の上では暑さが弱まるとされる今日でも真夏日や熱帯夜が続いており、引き続き熱中症対策が重要となっています。

熱中症症状による救急搬送者は、今年5月から7月末までに30人とな

り、半数以上は、高齢者の方でした。屋内での熱中症が多く見られたのは75歳以上の方である一方、屋外ではどの年代の方でも熱中症を発症し、救急搬送されています。

市では、こまめな水分補給やエアコンの使用、屋内での熱中症予防対策について、防災アプリやホームページ、公式LINE等を通じて情報提供をしています。

さらに、過去に例のない危険な暑さが想定される場合、新たに創設された熱中症特別警戒アラートが発表されます。その際には、より一層の注意喚起を行うとともに、市内4か所にクーリングシェルターを開設する等、市民の熱中症予防対策を講じます。

○ 地域ビジネス支援センター（仮称）の整備について

本庁舎西側の用地に建設を計画している産業振興拠点施設・地域ビジネス支援センター（仮称）につきましては、これまで、地域の産学官金が連携して「産業振興拠点施設整備推進協議会」を設立し、意見を集約しながら基本コンセプトを「地域と人が紡ぐ しごと創造空間」とする基本計画の策定、基本設計を進めてきたところです。

8月2日にデジタル田園都市国家構想交付金の対象事業に採択されたことから、今年度中に埋蔵文化財等の調査と併せて、実施設計を行うこととし、関連する予算を今議会に計上しています。

○ おかやまハレいろキャンペーン2024について

一昨年度行われた「岡山デスティネーションキャンペーン」を継続・発展させた「おかやまハレいろキャンペーン2024」が、9月から11月までの間、県内全域で開催されます。

本市では、実施主体である岡山県や観光関係団体等と連携し、歴史・文化に関する企画として「日本刀の聖地・長船で刀剣の歴史を体感」することができるイベントを実施します。また飲食店や宿泊事業者の協力により、日本刀をテーマにしたスイーツ等のグルメ商品や宿泊プランを創作してもらい、ホームページ、SNS、パンフレット等で発信し、誘客に努めていきます。

○ 備前長船刀剣博物館、瀬戸内市立美術館について

備前長船刀剣博物館では、瀬戸内市誕生20周年記念事業として、9月23日まで、特別展「瀬戸内市の名宝展」を開催しています。国宝「太刀 無銘一文字（山鳥毛）」をはじめとする瀬戸内市内の重要文化財指定の刀剣や武具等を一堂に集め、文化財が豊かに残る地域であることを発信しています。また、10月1日からは、特別展「お守り刀展」を開催します。現代の刀匠たちが製作した優品を紹介し、現代の日本刀製作に関わる伝統工芸技術の魅力を周知する機会としています。

瀬戸内市立美術館では、瀬戸内海国立公園指定90周年を記念して9月1日まで、特別展「造形作家 玉田多紀 海のいきものダンボール物語より」

を開催しています。ダンボールで制作した海のいきものの作品は、SDGsや海の環境問題等を親子で考えてもらう機会になっています。また、9月10日からは、瀬戸内エリアを拠点に活動している作家を顕彰する企画展「瀬戸内SPIRAL2」、11月1日からは、20世紀前半を代表する女性画家の一人であるマリー・ローランサンの作品を集めた特別展「マリー・ローランサン展」を開催し、地域の芸術文化の振興を図ります。

○ 全国消防救助技術大会への出場について

7月17日、岡山市で開催された第52回中国地区消防救助技術指導会に水上の部で出場した原田竜汰（はらだ りゅうた）消防副士長が、基本泳法訓練において2位の好成績を収め、8月23日に千葉県習志野市で開催された第52回全国消防救助技術大会に中国地区代表として出場しました。

基本泳法訓練とは、顔を水面から出しクロールと平泳ぎで、それぞれ25m泳ぐ水難救助の基本的な泳法であり、その速さを競うものです。

今後とも訓練等を通じ消防隊員に不可欠な体力、精神力、技術力を養い、地域住民の消防に寄せる期待にこたえられるよう努めていきます。

○ 岡山大学との連携について

今年度、瀬戸内市民病院では、岡山大学と「オンライン診療」に関し、連携の協議を進め、医療の質と患者の利便性の向上を図ります。

「オンライン診療」は、瀬戸内市民病院の診察室と岡山大学病院をオンラインで結び、岡山大学病院の医師の診察や薬の処方を受けることができます。来年度から開始できるよう協議、準備を進めることとし、関連する予算を今議会に計上しています。

○ 全国学力調査について

4月に実施した全国学力調査結果が7月末に公表されました。今年は、小学校6年生の国語と算数、中学校3年生の国語と数学が実施され、瀬戸内市の平均正答率は、いずれの教科も全国平均を上回りました。特に中学校3年生の国語と数学は全国平均を大きく上回り、これまでの学力向上の取組が実を結んでいるといえます。また、同一集団の経年比較においても、順調に学力をつけています。

○ 第4回瀬戸内市民芸術祭について

9月8日から12月22日までを会期として、第4回瀬戸内市民芸術祭を開催します。市民が主体的に取り組んでいる、牛窓しおまちアートやティンカーベル10th Anniversaryコンサート等16事業を実施する予定としており、地域で活動されている多くの方に表現の場を提供するとともに、市民が気軽に文化芸術に親しむ機会を増やし、文化芸術に参画できるまちの実現を目指します。

この芸術祭では、牛窓在住の日本画家、井手康人（いで やすと）氏と、愛知県立大学の藤原智也（ふじわら ともや）氏をお招きし、「アートを通してつくる地域とこどもの未来」をテーマにした講演会やワークショップ、竹久夢二生誕140年を記念した講演会、仲崎邸にて瀬戸内市誕生20年を記念するイベント「茶の湯と箏曲（そうきょく）を楽しむ会」等の開催も予定しています。

また、各イベント情報を取りまとめた冊子を作成し、市内外へ情報発信するため、市民芸術祭実行委員会と協働して準備を進めています。

さて、今議会で提案申し上げます案件は、条例6件、補正予算8件、その他17件、計31件です。

よろしくご審議をいただき、適切なお決定をいただきますようお願い申し上げます。報告を終わらせていただきます。

令和6年8月28日

瀬戸内市長 武久 顕也